

# 令和元(平成 31)年度事業報告

## I 概要

公益目的事業として下記のとおり 4 事業を実施しました。

### 1 県民への広報事業

臓器移植及び腎臓病の予防に関する理解を広げるための事業

### 2 移植医療体制整備等事業

臓器提供、臓器移植を担う医療機関の対応力の向上や臓器搬送をはじめ移植医療との連携が必要な機関などの体制の整備と連携の強化等を推進する事業

### 3 臓器移植希望者支援事業

臓器移植を希望する患者に対する情報提供・助成等の支援事業

### 4 臓器提供者フォロー事業

臓器提供者側に十分な敬意と謝意を示すとともに、提供者遺族等への精神面の支援等を行う事業

## II 各事業の実施状況

### 1 県民への広報事業【公益目的事業 1】

県民に対して、臓器移植の必要性や臓器不足の現状、臓器移植の制度等への理解、臓器提供意思表示カードの携帯などを訴え、臓器移植の普及に取り組むとともに、特に臓器移植希望者が多い腎不全患者の増加等を抑制するため、腎疾患の予防のための知識の普及を図りました。

#### (1) 啓発イベント等による広報

##### ① 臓器移植普及推進月間（10月）グリーンリボンキャンペーン

毎年全国一斉に展開されている臓器移植普及推進月間事業として、ポスター等を配布、臓器提供意思表示説明用リーフレット等を街頭配布、グリーンライトアップ等により臓器移植への理解、臓器提供に関する意思表示の普及広報に努めました。

##### a) 街頭キャンペーン

\*日 時 令和元年10月5日（土）12:00～14:00

場 所 駅前スタジアム

内 容 街頭配布活動（臓器提供意思表示カード説明用リーフレット、意思表示カード等 1,000部）

主 催 佐賀県、佐賀県臓器バンク

\*日 時 令和元年10月13日(日) 14:00~17:00

場 所 ゆめタウン佐賀

内 容 臓器提供意思表示カード説明用リーフレット、意思表示カード等街頭配付 1,000 部

主 催 佐賀県、佐賀県腎臓病協議会、佐賀若楠ライオンズクラブ、佐賀県臓器バンク

\*日 時 令和元年10月16日(水) 16:00~18:00

場 所 佐賀駅

内 容 臓器提供意思表示カード説明用リーフレット、意思表示カード等配布活動 500 部

主 催 佐賀県、佐賀県臓器バンク

b) 懸垂幕による広報

場 所 佐賀県庁旧館

期 間 10月15日~23日

内 容 懸垂幕 [「あなたの意志で救える命があります。臓器提供意思表示にご協力を」  
佐賀県・佐賀県臓器バンク・日本臓器移植ネットワーク]

c) グリーンライトアップによる広報

場 所 県庁舎正面玄関外をグリーンにライトアップ、佐賀メディカルセンター

期 間 10月15日~18日

d) ポスターによる広報

内 容 移植医療への理解を呼びかける AC ジャパン支援ポスター約 2,000 枚を配布  
配布先 医療機関、市町、学校、警察署、運転免許試験場、自動車学校等

e) デジタルサイネージ

佐賀県庁1階県民ホール、佐賀市庁舎1階市民ホール、鳥栖市役所1階市民ホール  
武雄市役所、佐賀県医療センター好生館、佐賀メディカルセンタービル

f) 移植を受けたこどもたちの作品展

場 所 佐賀県庁1階県民ホール

期 間 10月15日(火)~10月18日(金)

主 催 佐賀県、佐賀県臓器バンク

② 世界腎臓デー(3月第2木曜日)におけるキャンペーン

慢性腎臓病患者の増加に伴って重症化による人工透析患者数が増加しているため、国際的な統一キャンペーンとして設けられている世界腎臓デーに合わせて、慢性腎臓病の予防、重症化予防に関する理解を広めるため、チラシ等を配布し、例年広報を行っていましたが、今年新型コロナウイルス感染症により中止した

(主 催 佐賀県、佐賀県腎臓病協議会、佐賀県健康づくり財団、佐賀県臓器バンク)

(2) 他団体の各種イベントや街頭等における随時の広報

① 県内イベントや街頭での広報事業

多くの県民の方に移植医療や提供臓器が不足している現状、制度や臓器提供意思表示の手続きなどについて理解を広げるため、随時に、県内各地で開催される他団体のイベント会場等において、県民を対象にパネルの展示、カード、リーフレットの配布等により、広報を行いました。

実施会場 佐賀大学医学祭（5月25日～5月26日）  
佐賀市大和中央公園花しょうぶ園（6月1日）  
唐津市見返りの滝あじさい祭、（6月16日）  
嬉野温泉秋まつり（11月3日）  
はたちの献血キャンペーン（1月13日）  
佐賀県CKD対策医療従事者研修会（2月24日）

② 成人式会場における広報

成人式への参加者に対して、臓器提供意思表示カード普及についてのリーフレットを配布しました。

対象市町数 20市町 送付数 約9,000部

(3) 公共施設窓口等における広報

市町庁舎、図書館等の公共施設、医療機関、薬局、保健所、金融機関、大学等の窓口臓器移植に関するリーフレット等を配置し、当該施設等への来場者に対する広報を行いました。

資料配置箇所 累計 約800ヶ所

(4) 出前講座

各種団体の会合や学校での命の教育等の機会、要請に応じて、臓器移植コーディネーター等による講座、学習会を行いました。

- ・佐賀大学医学部医学祭（5月26日） 36名
- ・医療福祉専門学校緑生館 総合看護学科（11月21日） 40名
- ・佐賀市医師会立看護専門学校（1月8日・1月11日） 72名
- ・鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校（2月18日） 29名

《県民への広報事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置及び活動等に対する助成

## 2 移植医療体制整備等事業【公益目的事業1】

臓器提供者側の意思表示に適切に対応し、臓器提供、臓器移植を円滑に進めていくには、臓器提供が発生する可能性がある医療機関における臓器提供時の対応力の充実、臓器提供側医療機関と移植を行う医療機関及び臓器移植コーディネーター、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク等の当事者間の協力と連携体制を築いておくことが不可欠です。当財団の臓器移植コーディネーターが各医療機関を訪問して当該医療機関の課題等を把握するとともに、臓器提供時に臓器提供医療機関の窓口となり、また日頃から各医療機関内での体制づくりの推進役となる院内移植コーディネーターの配置や、各医療機関内での勉強会、県内の移植医療関係者を集めての連絡会議や研修会等を開催して、各医療機関の臓器移植への対応力の向上と協力・連携体制の向上を図りました。

また、臓器移植を行う場合には、摘出された臓器の搬送を限られた時間内に的確に搬送するため、臓器搬送車の誘導等を行う警察や航空機利用時の空港、緊急時での活用が想定される防災ヘリコプターの管理者等と、連絡体制や連絡方法、臓器搬送時に必要な配慮などについて予めマニュアル化し、担当者等の交代時には随時確認するなど対応力の維持に取り組みました。

### (1) 院内移植コーディネーターの配置

臓器提供の可能性が高い救急指定病院（消防法及び厚生労働省令に基づき都道府県が指定告示した病院）等において、臓器提供時の病院内当事者間の調整、県臓器移植コーディネーターや公益社団法人日本臓器移植ネットワークとの連絡調整等を担うとともに、日頃からの病院内体制づくりをけん引する「院内移植コーディネーター」を委嘱しました。

・令和元年度委嘱者数(施設数) 50名 (10施設)

佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館、唐津赤十字病院、河畔病院、白石共立病院、嬉野医療センター、伊万里有田共立病院、やよいがおか鹿毛病院、新武雄病院、今村病院

・報酬等 なし

### (2) 院内移植医療勉強会の開催

臓器移植に関する制度や対応の仕方について、臓器提供が少ない現状では、通常の臨床においては経験、学習する機会が少ないため、各医療機関で臓器提供・臓器移植に的確に対応するためには、臓器移植に関する研修を通じて情報・知識を習得し、各医療機関内での組織的な役割分担や協力体制を確立する必要があります。

また、臓器提供者の尊い提供意思を看過することなく、臓器移植に生かしていくために、臓器提供側の医療機関において、終末期に至った患者の最後の選択としての臓器提供の意思（提供者本人の臓器提供意思表示の有無、家族等の同意）を確認したり、医療機関スタッフが（臓器の提供時期が不確定のため）長時間にわたって待機を要する等の大きな負担を克服するに足りる臓器移植への理解が必要です。

このため、当財団の臓器移植コーディネーターが研修内容の企画や講師の選定・依頼等の支援を行い、臓器移植に関する法制度や体制づくり等についての学習等の研修を実施しました。（下記の他、独自の施設内研修会等も開催されました。）

① 佐賀県医療センター好生館

◇透析医療従事者職員研修

日 時 令和元年12月9日（月）

参加者 約1名（看護師）

内 容 献腎移植希望者の登録について

講 師 佐賀県臓器移植コーディネーター 荒木コーディネーター

◇救急センター勉強会

日 時 令和2年3月25日（水）

参加者 約40名（看護師）

内 容 脳死下臓器提供のシュミレーションについて

講 師 日本臓器移植ネットワーク 深堀コーディネーター

佐賀県臓器移植コーディネーター 荒木コーディネーター

◇他に好生館、嬉野医療センターについては、開催を中止された。

(3) 連絡・連携のための会議等の開催

移植医療関係者の相互の連携を深めるとともに、共通する課題等についての情報・意見の交換によって知識を深めるため、県内移植医療関係者合同の連絡会議を開催しました。

① 佐賀県臓器移植普及会議の開催

a) 令和元年度第1回会議

日 時 令和元年8月23日（金）18:30～

場 所 佐賀市 佐賀メディカルセンタービル 研修室

参加者 49名 各医療機関の院内移植コーディネーター、県内救急指定病院職員、腎臓移植会員施設移植医、日本臓器移植ネットワーク・コーディネーター、県臓器移植コーディネーター、佐賀県健康増進課、佐賀県臓器バンク事務局

内 容 「臓器提供の意思確認は誰の仕事？」「選択肢提示の実際 2症例より」

講 師 株式会社麻生飯塚病院 副院長・脳神経外科部長 名取良弘先生

佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター 櫻井良太先生

佐賀県医療センター好生館 救命救急センター 松本康先生

主 催 佐賀県・日本臓器移植ネットワーク・佐賀県臓器バンク

b) 令和元年度第2回会議

日 時 令和2年2月13日（木）18:30～

場 所 佐賀市 佐賀メディカルセンタービル 健康支援センター多目的ルーム

参加者 56名 各医療機関の院内移植コーディネーター、県内救急指定病院職員、腎臓移植会員施設移植医、日本臓器移植ネットワーク・コーディネーター、県臓器移植コーディネーター、佐賀県健康増進課、佐賀県臓器バンク事務局

内 容 「心停止下臓器提供シミュレーション」  
「心停止下臓器提供の現場から」

講 師 佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科 教授 野口満先生  
日本臓器移植ネットワーク 塚本美保先生

主 催 佐賀県・日本臓器移植ネットワーク・佐賀県臓器バンク

## ② 院内コーディネーター研修会の開催

日 時 令和元年12月21日（土）10：00～

場 所 アバンセ4階 研修室

参加者 16名 院内移植コーディネーター

内 容 「移植医療の基礎知識」「院内移植コーディネーターの役割、活動の実際」  
「終末期患者の権利と臓器提供」「カード並べ・臓器提供の流れ（脳死下・心停止下）」  
「適応判断・こんなケースならどうする？」「角膜提供の流れ」「献腎移植の実際」

講 師 日本臓器移植ネットワーク 塚本美保先生  
福岡赤十字病院 ICU 看護師長 研井礼子先生  
佐賀大学医学部附属病院 救急看護認定看護師 今泉香織先生  
佐賀県臓器バンク 荒木千代美  
佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター副センター長 三池徹先生  
佐賀県アイバンク協会 岩永 悠楓先生  
佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科 准教授 東武昇平先生

## （4）臓器搬送体制の確保

臓器搬送への協力が必要な警察、消防、空港等の関係機関の組織や担当者の異動に伴う連絡の修正、道路規制、空港管理の変更や緊急車両の運用方法の変更等の他、交通事情の変化等に伴う搬送マニュアルの見直し等を行うなど、着実、迅速な臓器搬送ができるよう佐賀県警察本部担当者及び佐賀空港管理事務所担当者等の協力機関連絡会議を開催し、臓器提供者発生時の検視、臓器搬送に関する連絡方法について、マニュアル等の内容の確認等を行いました。

日 時 令和元年7月18日（木）

場 所 佐賀市 佐賀メディカルセンタービル 研修室

参加者 10名 県警察本部地域課、県警捜査第一課、佐賀空港事務所、佐賀県消防防災課、佐賀県健康増進課、日本臓器移植ネットワーク

#### 《移植医療体制整備等事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

### 3 臓器移植希望者支援事業【公益目的事業1】

臓器移植を受けるために必要な臓器移植希望の登録の際の本人の負担を軽減するため、手続きの支援や費用の助成を行いました。

#### (1) 臓器移植希望者への情報提供

6件の相談に対応して、電話や対面での相談、検査施設での立会、手続きの支援等を行いました。

#### (2) 臓器移植希望登録に係る費用の助成

公益社団法人日本臓器移植ネットワークに臓器移植希望を登録するために必要な組織適合検査（HLA検査）に要する費用を助成しました。

助成者数：6名、助成額：150,000円

#### 《臓器移植希望者支援事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

### 4 臓器提供者フォロー事業【公益目的事業1】

佐賀県医療センター好生館において、7月に心停止下臓器提供をされた遺族等への支援を行いました。

- ・ 直後送付（感謝状・供花）、3か月後、6か月後の経過報告等は施設関係者へ報告した。

#### 《臓器提供者フォロー事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益

佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金